

和歌山縣報

第三百四十六號

大正五年二月九日

○縣令

○和歌山縣令第六號

市町村吏員事務引繼ニ關スル規程左ノ通相定ム
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正五年二月九日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

第一條 市町村長、收入役ノ事務引繼ノ日時ハ豫メ市町村長ヨリ第一次監督官廳ニ報告スヘシ

監督官廳ハ事務引繼ニ際シ官吏ヲシテ臨檢セシムルコトアルヘシ

第二條 市町村長ハ收入役及分掌事務アル副收入役ノ事務引繼ニ立會フヘシ

第三條 事務引繼ノ期間内ニ引繼ヲ了スルコトヲ得サル爲第一次監督官廳ノ許可ヲ受クル場合ハ

稟請書ニ其ノ事由並ニ引繼期間ヲ記載スヘシ

第四條 事務引繼ハ吏員退職ノ日ノ現在ニ依ルヘシ其ノ一時引繼ヲ受ケタル者ヨリ後任者ニ引繼

ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ後任者服務ノ日ノ現在ニ依ルヘシ

第五條 引繼書ハ市町村長ニ在リテハ第一號様式收入役ニ在リテハ第二號様式ニ依リ之ヲ調製ス

ヘシ

分掌事務アル助役、副収入役、區長ノ引繼書ハ第一號又ハ第二號様式ニ準シ調製スヘシ

市町村ノ一部又ハ町村組合ノ事務ニ付テハ別ニ引繼書ヲ調製スヘシ

第六條 事務引繼ニ際シ調製スヘキ書類、帳簿、物件又ハ財産ノ目錄ハ現ニ設備セル目錄又ハ臺帳ニ依リテ引繼ヲ爲ストキノ現在ヲ確認シ得ル場合ニ於テハ之ヲ以テ充用シ其ノ旨引繼書ニ記載スヘシ

第七條 事務引繼ヲ爲ス者ト其ノヲ受クル者トノ間ニ引繼上ニ關シ意見ヲ異ニスルモノアルトキハ市町村長ハ其ノ事由ヲ具シ第一次監督官廳ノ指揮ヲ請フヘシ

第八條 市町村長、収入役ノ事務引繼ヲ了シタルトキハ市町村長ハ其ノ旨直ニ第一次監督官廳ニ報告スヘシ

第九條 事務引繼ノ期間内ニ引繼ヲ爲ササルトキハ市町村長ハ期日ヲ指定シテ引繼ノ催告ヲ爲スヘシ

第十條 前條ノ催告ニ應セス又ハ引繼ヲ拒ミタル場合ニ於テハ市町村長ハ第一次監督官廳ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ

第十一條 郡長ニ於テ事務引繼ニ關シ過料ヲ科シタルトキハ直ニ其ノ顛末ヲ知事ニ報告スヘシ

第十二條 吏員死亡其ノ他ノ事故ニ依リ引繼ヲ爲スコト能ハサルトキハ市町村長、収入役ニ在リテハ第一次監督官廳ニ於テ官吏又ハ吏員ニ助役副収入役收入役代理者及區長ニ在リテハ市町村長ニ於テ吏員ニ命シテ其ノ事務ヲ調査シ引繼ヲ爲サシムヘシ

第一號様式

大正何年何月何日任期滿了(何々)ニ付別紙書類帳簿及財産目錄並演述書、依リ事務引繼候也

大正何年何月何日

元何市(町)(村)長 氏 名 印

何市(町)(村)長氏名殿

書類帳簿目錄

一市(町)(村)圖	何冊
一字圖	何冊
一何々證書	何通
一保存文書	
何年分	何冊
何年分	何冊
一上地臺帳	何冊
一地租名寄帳	何冊
一何々	何冊
右之通	

財産目錄

本目錄ハ左記臺帳ニ登載ノ現在ヲ以テ之ヲ充用ス(基本財産ニ屬スル有價證券現金等明細書添付)

一財産臺帳 何冊

一 備品臺帳

何冊

(備考)

一 書類帳簿ノ部ニ屬スル保存文書及原簿臺帳類ニシテ簿冊臺帳調製濟ノ市町村ニ在リテハ書類帳簿目録及財産目録ハ之ヲ合併シ左ノ如ク記載スヘシ

一 書類帳簿及財産目録ハ左記臺帳ニ登載ノ現在ヲ以テ之ヲ充用ス(基本財産ニ屬スル有價證券現金等明細書添付)

一 簿冊臺帳

何冊

一 財産臺帳

何冊

一 備品臺帳

何冊

一 備品臺帳ノ設ケナキ市町村ニ在リテハ財産目録ニ器具機械ノ重ナルモノヲ役所、役場、學校、隔離病舎其ノ他備品所屬ノ異ナル毎ニ記載スヘシ

一 金穀等ノ積立アル市町村ニ在リテハ基本財産ニ屬スル有價證券現金等ノ明細書ニ準シ目録中ニ記載スヘシ

一 基本財産ニ屬スル有價證券現金等明細書ハ左ノ様式ニ依リ調製スヘシ

有價證券現金等明細書

種別	券面別枚數又ハ通帳數	總額面又ハ現在金額
無記名五分利公債		
何々公債		

演述書

處分未済事項

一何々調ノ件

本件ハ何年何月本縣訓令第何號ニ依リ(本年何月何日本郡役所ノ通牒ニ依リ)來ル何月何日限
 リ報告スヘキモノニ付専ラ調査中ナリシモ未完了セス
 一何々ノ件

何々債券		
何々株券		
合 計		
郵便貯金		
大藏省預金		
何々銀行預金		
合 計		
現金		
總 計		

本件ハ去ル何月何日市(町)(村)會ノ議決ヲ經目下主務省(何々)へ許可(認可)稟請中ナリ

一何々ノ件

未着手事項

一道路改修ニ關スル件

本市(町)(村)何町(何大字)ヨリ何町(村)大字何ニ至ル里道ハ狹隘且不完全ナルヲ以テ之カ改修ヲ爲スヘク本年何月何日市(町)(村)會ノ議決ヲ經タルモ敷地買収交渉等ノ爲未着手ニ至ラス

一何々ノ件

何々

將來企劃見込事項

一尋常小學校舎改築並増築ノ件

何々尋常小學校舎ハ明治何年何月建築セシモノニシテ腐朽破損ノ箇所尠カラス此ノ上修繕ノ見込ナキニ依リ改築ノ必要アリ且學齡兒童ノ増加ニ伴ヒ教室ノ増加ヲ要スルヲ以テ明年度ニ於テ施工スルコトトシ本年中心ニ技術者ニ調査設計ヲ託シ其ノ財源ハ古材賣却代及指定寄附金ノ外地租營業稅所得稅附加稅ノ制限外課稅ヲ爲シ戸數割附加稅ハ負担ニ堪ヘ得ル限り之ヲ賦課シ不足額ハ教育資金ヨリ借入ルル見込ニテ町(村)會ニ提案ノ計劃ヲ立テタリ

一市(町)(村)勢調査ニ關スル件

市(町)(村)現勢ノ調査ハ市(町)(村)是ノ確立、公共事務ノ經營乃至將來ニ於ケル民業ノ歸向並指導獎勵ニ付必須ノ材料タルヲ以テ近ク之カ調査ニ着手スルノ必要ナルヲ認ム

一何々ノ件

何々

右之通

(備考)

一前任者在職中ニ起生シタル事件ニシテ處分未済又ハ未着手ノモノ及將來企劃スヘキ見込ノ事項ハ前記載例ニ依リ悉ク之ヲ記述スルヲ要ス

第二號様式

引 繼 書

大正何年何月何日任期滿了(何々)ニ付別紙現金書類帳簿其ノ他ノ物件目錄ニ依リ事務引繼候也
大正何年何月何日

何市(町)(村)收入役氏名殿

元何市(町)(村)收入役 氏 名 (印)

現金明細書

一何年度市(町)(村)歳入歳出ニ屬スル分	金 何 程
一何年度特別會計何々歳入歳出ニ屬スル分	金 何 程
一寄 託 金	金 何 程
一何年度水利組合費徴收金	金 何 程
一何 年 度 縣 税	金 何 程

○訓令

○和歌山縣訓令第四號

土木費補助施行規程左ノ通定ム

大正五年二月九日

土木費補助施行規程

第一條 土木費支辨規則ニ依リ縣費ノ補助ヲ受クムトスルトキハ左ノ區別ニ從ヒ知事ニ申請スヘシ

一、改修、改良工事ハ施行年度ノ前年度五月三十一日限

二、修繕工事ハ四月三十日限但シ急ヲ要スルモノハ隨時申請スルコトヲ得

災害復舊工事及土木費支辨規則第四條第九號ノ工事ニシテ補助ノ必要アリト認ムルトキハ其ノ都度申請期限ヲ定ム

第二條 前條申請書及之ニ添付スヘキ圖書ハ左ノ各號ニ依リ調製スヘシ但シ輕易ノ工事ニ在リテハ實測平面圖構造圖ニ限リ畧圖ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

和歌山縣知事

鹿子木 小五郎

内務部
郡役所
市役所
町村役場
水利組合

一、申請書(第一號式)

二、計畫説明書(工事ヲ施行セムトスル位置ノ現狀及改修又ハ變更等ヲ要スル理由並其ノ設計ノ要領ヲ知ルニ足ルヘキ必要ノ事項ヲ記載スルヲ要ス)

三、設計書(第二號式)

四、切取、盛土、石垣坪等ノ數量計算書(平積及立積ハ單位以下四捨五入ノ法ニ依リ二位ニ止ム)

五、一位單價表(内譯計金及合計金ハ四捨五入ノ法ニ依リ錢位ニ止ム)

六、實測平面圖、縱橫斷面圖、構造圖(平面圖ノ縮尺ハ最小限度ヲ三千分ノ一、縱斷面圖ノ縮尺ハ最小限度ヲ同一ノ縮尺其ノ縱線ハ貳百分ノ一、橫斷面圖、構造圖ノ縮尺ハ最小限度ヲ百分ノ一トス)

七、工費ノ收支見込書(修繕工事ニハ要セス)

八、工事施行ニ關スル議決書(修繕工事ニハ要セス)

九、二以上ノ市町村ニ跨ル道路ノ改修工事ニ在リテハ其ノ路線ニ對スル隣接市町村ノ意見書

第三條 道路ノ改修工事ニ在リテハ路線ノ勾配ハ最急十分ノ一(二區間二百間以内ニ限ル)曲線ノ半徑ハ最小四間ヲ超ユルコトヲ得ス

第四條 知事ハ第一條ノ申請ニ對シテハ査定工費及補助内定額ヲ通知スヘシ但シ第一條第二號ノ申請ニ對シテハ直チニ補助ノ指令ヲ與フルコトアルヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ニ依リ豫算ヲ調製シ其ノ議會ノ議決ヲ經補助額内定通知ノ日より三十日以内ニ知事ニ補助申請スヘシ(第二號式)

第一條申請ノ圖書ニシテ不備ノモノアルトキハ第一項ノ通知ト共ニ期限ヲ指定シ更ニ之ヲ提出

セシム

第一項但書ノ場合ニ於テハ補助指令ノ日ヨリ三十日以内ニ豫算ヲ調製シ議會ノ議決ヲ經知事ニ報告スヘシ

第五條 工事ノ執行ニ關シテハ本縣工事執行程規及同施行細則ニ準據スヘシ

第六條 工事ヲ請負ニ付シタルトキハ契約締結後七日以内ニ其ノ曆本ヲ添ヘ知事ニ報告スヘシ

第七條 工事ノ着手ハ請負ニ在リテハ契約ノ日ヨリ十日以内、直營ニ在リテハ補助指令ノ日ヨリ三十日以内トス但シ直營ノトキハ竣工ノ月日及執行ノ方法ヲ知事ニ報告スヘシ

第八條 工事中ハ毎月十五日ニ功程報告書ヲ調製シ直ニ知事ニ報告スヘシ

第九條 天災其ノ他正當ノ理由ニ因リ工事ノ廢止、變更、中止若ハ着手、竣工ノ延期ヲ要スルトキハ其ノ事由ヲ具シ知事ノ許可ヲ受クヘシ但シ一工事ニ付三十日以内ノ中止又ハ着手延期ハ管理
者ニ於テ執行シ同時ニ知事ニ報告スヘシ中止ヲ解除シタルトキ亦同シ

第十條 主務ノ官吏吏員ニ於テ工事設計ニ違ヒ又ハ不完全ト認ムルトキハ期限ヲ指定シテ改造ヲ命スルコトアルヘシ

第十一條 工事竣工シタルトキハ其ノ出來形精算書(設計書ニ準ス)ヲ添ヘ竣工検査ヲ要求スヘシ
第十二條 補助金ハ竣工検査完了後其ノ工費ノ精算額(出來形精算書ノ金額ト符合スルヲ要ス)ニ對シ之ヲ交付ス

設計變更又ハ精算ノ結果工費減額シタルトキハ更ニ當初許可ノ率ニ依リ補助金額ヲ算定ス但シ
工費増額シタルトキハ其ノ額ニ對シテハ補助セス
前項補助金額ハ圓位ニ止ム

第十三條 竣功検査完了シタルトキハ検査完了書ヲ交付ス(第四號式)

第十四條 補助金請求書ハ竣功検査ヲ受ケタル後前條ノ検査完了書ヲ添ヘ直ニ提出スヘシ

第十五條 左記各號ノ一ニ該當スルトキハ補助ノ指令ヲ取消スコトアルヘシ

一、施行緩慢ニシテ所定ノ期限ニ竣功セス若ハ竣功シ難シト認ムルトキ

二、改造ノ命ヲ受ケ之ヲ實行セザルトキ

三、前各號ノ外本則ニ違反シタルトキ

第十六條 工事ハ必ス年度内ニ竣功スヘシ若不得止事由ニ因リ次年度ニ繰越サムトスルトキハ當

該議會ノ議決書寫ヲ添ヘ三月二十日迄ニ當廳ニ到着スヘキ豫定ニテ申請スヘシ但シ次年度ニ繰越シタル工事ハ再度ノ繰越ヲ許サス

第十七條 左ノ場合ニ於テハ一回ニ限り出來形工費ニ對スル補助金ノ八分以内ノ前渡ヲ請求スルコトヲ得

一、工事費千圓以上五千圓未満ノモノ出來形五分以上ニ達シタルトキ

一、工事費五千圓以上ノモノ出來形四分以上ニ達シタルトキ

前項前渡ノ請求アリタルトキハ出來形検査ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テハ第十三條及第十四條ヲ準用ス

第十八條 縣ノ補助ヲ受ケタル工事ニ關スル會計及其ノ他一切ノ事務ハ別ニ之ヲ整理スヘシ

前項事務取扱ニ要スル帳簿其ノ他ノ關係書類ハ官吏吏員ヲシテ臨時検査セシムルコトアルヘシ

第十九條 本規程ニ依リ知事ニ提出スル書類ハ總テ所屬工區出張所ニ差出スヘシ

工區出張所主任ハ前項ノ書類ヲ調査シ直ニ當廳ニ進達スヘシ但シ第二條第四條及第十六條ノ書

類ハ郡役所ヲ經由スルヲ要ス

第二十條 災害復舊工事ノ取扱ニ關シテハ災害土木費補助規程ノ外本規程ヲ適用ス

附 則

第二十一條 本規程ハ大正五年四月一日ヨリ施行ス

第二十二條 土木費支辨規則第四條第八號ノ工事ハ大正五年度ニ限り五月三十一日迄ニ申請スル
トキハ其ノ年度ニ於テ補助スルコトアルヘシ

(第一號式)

土木費縣費補助申請

何々何々間何々道又ハ何川筋

一何郡市何町村何々地先道路又ハ何々改築又ハ修繕工事

此ノ設計工費

何 程

(二)以上ノ場合ハ列記シテ設計工費ノ合計ヲ付スヘシ)

右ハ(工事施行ヲ要スル理由及縣費補助ヲ受クルノ必要アル事情ヲ詳記スヘシ)候間縣費ヨリ相當御補助相成度何會議決書謄本及關係圖書相添ヘ此段申請候也

年 月 日

郡市町村長又ハ何組合管理者

氏

知 事 宛

名 印

(第二號式)

何々工事設計書

一金何 程 (總工費額ヲ圓以下切捨掲記ノコト)

設計内譯

位置	名稱	長	横	數量	單價	金額	仕樣
字又ハ測点	岩又ハ土切取工						

(第三號式)

土木費補助申請

何々何々間何々道又ハ何川筋

一何郡市何町村何々地先道路又ハ何々改築又ハ修繕工事

此ノ設計工費

何 程

(二)以上ノ場合ハ列記シテ設計工費ノ合計ヲ付ス(ヘシ)

右工事ニ對シ何年何月何日何第何號御通牒ニ依リ別紙ノ通何會ニ於テ議決シタル豫算書(及何々圖書)相添ヘ申請候條縣費ヨリ御補助相成度候也

年 月 日

郡市町村長又ハ何組合管理者

氏

名 印

知 事 宛

備考 括弧内ノ文字ハ圖書不備ノ爲更ニ提出方通牒セラレタル分ニ限ル

(第四號式)

縣費補助工事竣功検査完了書

何年度施行指令七第何號

何郡市何町村大字何字何地内

一何々 工事

竣功精算金

何 程

此ノ補助金

何 程

右之通竣功検査完了セリ依テ証明候也

年 月 日

檢 査 主 任

職 氏

名 印

備考

出來形認定ノ上特ニ相當ノ補助金交付スル場合ニ於テハ「竣功精算金」トアルヲ「竣功出來形認定工費金」又ハ前渡請求ノ場合ニ於テハ「出來形認定工費金」ト記入スルヲ要ス

○和歌山縣訓令第九號

郡役所 市役所 町役場 水利組合

大正四年十月和歌山縣令第四十九號土木費支辨規則第二條但書ノ工事ニ要スル費用ハ其ノ金額ノ十分ノ五以上ヲ關係ノ公共團體又ハ私人ニ於テ從來ノ例ニ依リ寄附スル場合ニ限り之ヲ施行スルコトアルヘシ但シ知事ニ於テ特ニ必要アリト認メタルトキハ此ノ限ニ在ラス

大正五年二月九日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

○和歌山縣訓令第六號

明治二十五年六月訓令第四百十七號市町村吏員事務受渡規則ハ之ヲ廢止ス

大正五年二月九日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

○告示

○和歌山縣告示第四十八號

東牟婁郡七川村大字松根二百三十五番地

開業產婆 松平小梅
右今般京都府京都市下京區大宮通り五條上ル下五條町四百三十五番地へ轉住ノ旨ヲ以テ顯出ニ依
リ本日和歌山縣產婆名簿ノ登錄ヲ取消ス
大正五年二月九日
和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

○ 辭 令

○大正五年一月二十七日
年俸九百圓下賜

農事試驗場技師 平野英一

○大正五年一月三十一日
御用濟ニ付解雇

雇 辻本菊太郎

○大正五年二月一日

官幣大社熊野速玉神社主典ニ補ス

古部 貢

四級俸ヲ給ス

年手當貳拾圓ヲ給ス

○大正五年二月三日

第五工區出張所勤務ヲ命ス

土木技手 北山正雄

○大正五年二月五日

海草郡黒江町立漆器學校助教諭ニ任ス

井田久之丞

月俸貳拾貳圓ヲ給ス

○大正五年二月七日

四級俸ヲ給ス

師範學校書記 岩橋藤三郎

○通牒照會

○依命通牒

○土第四九九號

大正五年二月九日

各郡市長宛

內務部長

大正四年十月縣令第四十九號土木費支辨規則第二條但書ニ該當スル工事ノ費用支出ニ關シ本日訓令第五號ヲ以テ示達セラレタル通ニ有之候處其ノ取扱方左ノ通御了知相成度

一、本訓令ニ依リ工費ヲ寄附セムトスル場合公共團體ニ在リテハ其ノ願書ニ關係議會ノ議決ヲ經タル上會議錄謄本ヲ添付セシメ又私人ニ在リテハ其ノ願書ヲ徵シ前年度五月三十一日迄ニ知事ニ提出ノコト

○彙報

○官廳事項

○轉任 本縣農事試驗場技師平野英一ハ一月二十七日鳥取縣農事試驗場技師ニ轉任セリ

○叙位 正八位小關太平治ハ一月三十一日從七位ニ叙セラレタリ

○衛生

○上海ニ於ケル本週自一月十七日至一月二十三日中ノ傳染病狀況ニ關シ當省防疫事務囑託入倉榮暉ヨリ去月二十五日附ヲ以テ左ノ通報告アリタリ(大正五年二月五日內務省衛生局衛第九四五號)

區別	虎列刺	廣	チフス	赤痢	ペスト	痘瘡	猩紅熱	實布	發疹	計
新患者	一	二	一	一	一	一	三	一	一	七
死者	一	一	一	一	一	一	三	一	一	四
現在者	一	三	一	一	一	一	一	一	一	三
一月(患者)以來累計死者	一	五	一	四	一	一	一	一	一	二九
備考							五	七		六

一、本週ニ於ケル傳染病患死者ハ本表ノ通ニシテ猩紅熱ハ尙衰退セス

一、本週中ノ各國共同居留地内ノ死者ハ外國人七名支那人百三十六名計百四十三名ニシテ前週ヨ

リ一名多シ而シテ日本人ノ死者ハ二名ナリ

○自一月廿一日至一月卅一日岸上村「トラホーム」患者治療旬報

種別	廿一日	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	卅一日	合計
生徒患者	七六名	七四	七三	七四	六八	七〇	七二	六七	七〇	六七	七八五
其他患者	三九四名	三四四	三四一	三四二	三四一	三三七	三三四	三三七	三三七	三三七	三八八
計	四七〇名	四一八	四一四	四一五	四一五	四〇五	四一四	四〇六	四〇四	四〇七	四四七二

○自一月廿一日至一月卅一日狩宿村「トラホーム」患者治療旬報

種別	廿一日	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	卅一日	合計
計	廿一日	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	卅一日	合計

生徒患者 七五名 四一 四五 三六 三九 四四 三六 三六 四四 五五 三一 三七 四四四
 其他患者 三七九名 一六三 一七六 一五二 一七二 一七八 二〇四 一〇三 一九六 一七〇 一七九 一九八 一九九七
 計 四五四名 二〇四 二二二 一八七 二二〇 二二二 二四〇 二三九 二四〇 二二三 二一〇 二三五 二、四四一

○自一月廿一日至一月卅一日黑江町「トラホーム」患者治療旬報

種 別 廿一日 廿二日 廿三日 廿四日 廿五日 廿六日 廿七日 廿八日 廿九日 三十日 卅一日 合計

生徒患者 二九〇名 一四八 一三八 三一 一四三 一五一 一五四 一四六 一三八 一二一 一六一 二二七 一、三一

其他患者 一、一四〇名 一三五 一六五 六九 一〇七 一五七 一六五 一五五 一二五 一二四 五 九七 一、三五〇

計 一、四〇六名 二八三 三〇三 一〇〇 二五〇 三〇八 三一九 三〇一 二六三 二四五 六七 二二四 二、六六一

○自一月廿一日至一月卅一日山田村「トラホーム」患者治療旬報

種 別 廿一日 廿二日 廿三日 廿四日 廿五日 廿六日 廿七日 廿八日 廿九日 三十日 卅一日 合計

生徒患者 八〇名 一 一 一 八 七〇 七三 七五 七五 七二 一三 七三 五三四

其他患者 一五五名 一 一 一 一 一〇四 一〇一 九五 一〇二 九六 八五 六四 八三五

計 二三五名 一 一 一 一 一二八 一七四 一七四 一七〇 一七七 一七一 一五七 七七 一四一 一、三六九

大正五年二月八日印刷
 大正五年二月九日發行
 每月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日

和歌山縣知事官房

印刷人 和歌山市北休賀町六番地 七
 印刷所 和歌山市北休賀町六番地 七